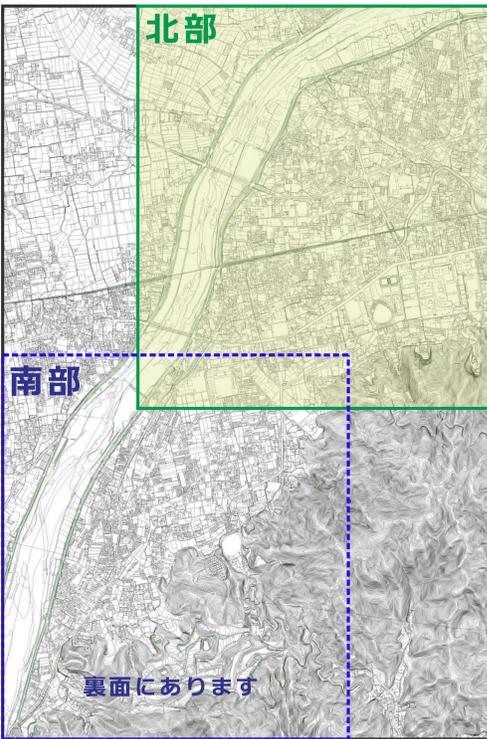


加茂名地区(北部)地震・津波・洪水避難支援マップ

2020年3月

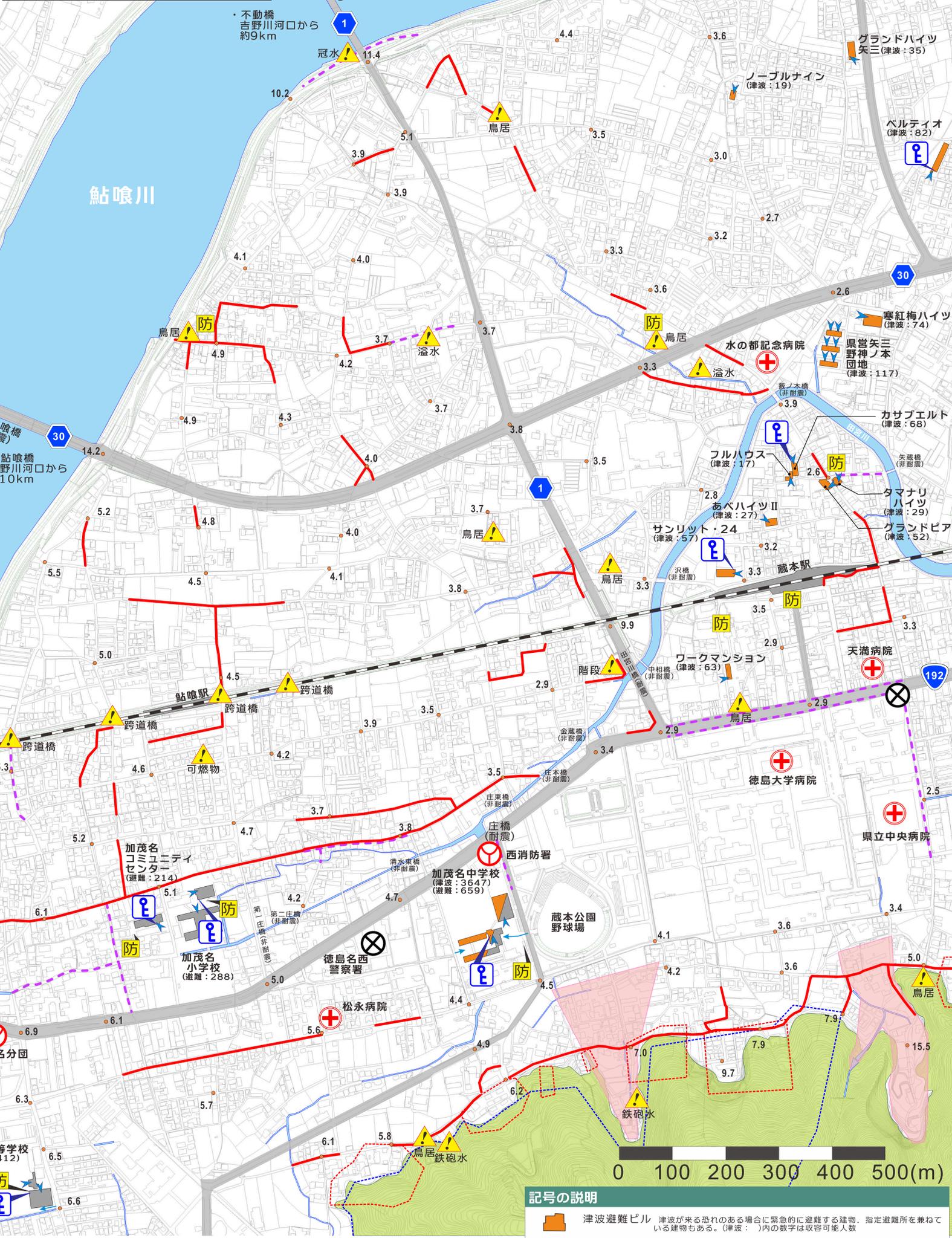


南海トラフ巨大地震の想定と避難

地震発生時の加茂名地区の揺れの強さは**最大震度7**で、地盤の沈下・液状化が発生し、建物やブロック塀等の損傷・倒壊、道路の通行障害が発生します。**津波第1波は地震発生41分後に東沖洲マリニピアに到達し、最大高さは5m程度(地震発生53分後)になります。**津波は川を遡上・氾濫して、蔵本公園野球場付近まで浸水し、浸水深は1~3mですが、田宮川の藪ノ木橋~沢橋間周辺では4m程度の想定です。**避難に使える時間は30分程度**になります。
 自身や家族の負傷、情報の混乱の可能性もあります。大雨が重なると使えない避難路も出てきます。様々な状況を想定し、安全に避難できるよう、このマップを使って**複数の避難場所と避難経路を考えておきましょう。**

大雨・洪水時の避難

大雨・洪水が予想される場合は**早い(明るいうち)に避難**することが何より重要です。夜間や急激な降雨では危険箇所が見えなくなるので動かない方が安全です。浸水深が10cmを超えると泥水で路上が見えなくなると避難が困難となります。**浸水が始まった後の避難では、①単独避難を避け、②運動靴を履き、③探り棒で水中を探りながら避難してください。**最近の洪水時の死亡原因の約2割は家の近くの側溝などに足を取られてしまうことであるという報告もあります。2人以上で避難していれば流されたり、深みに落ち込んでも助かる可能性が高くなります。長靴は水が入ると途端に歩かなくなるので履いてはいけません。このマップを参考に浸水しやすい場所を常日頃から確認しておきましょう。
車で浸水箇所を通過するのは非常に危険です。浸水深が10cmを超えるとブレーキが利かなくなり、30cmを超えるとマフラーから水が逆流してエンジンに水が入ります。70cmでは水圧のためにドアが開けにくくなり、脱出できなくなる可能性もあります。



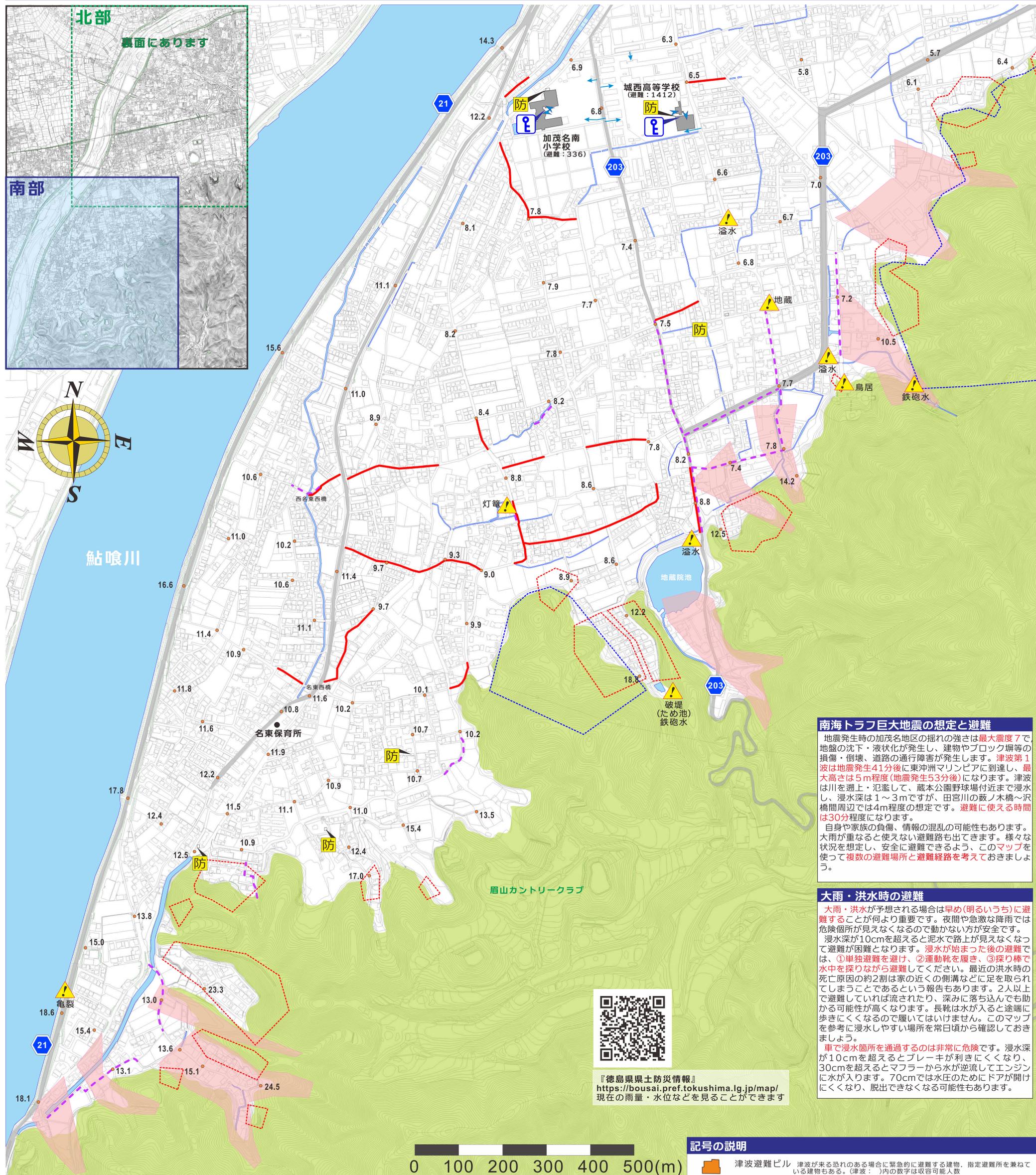
- #### 記号の説明
- 津波避難ビル 津波が来る恐れのある場合に緊急的に避難する建物。指定避難所を兼ねている建物もある。(津波：)内の数字は収容可能人数
 - 指定避難所 台風、土砂災害等の一般災害時や、大規模地震に伴う津波警報解除後に被災者が一定期間避難して生活を送る施設。(避難：)内の数字は収容人数
 - 避難ビル入口
 - 小中学校や高等学校等の敷地入口
 - かぎ保管庫
 - 主要道路
 - 主な避難路のうち、狭かったり、障害になりやすいブロック塀があったり、見通しが悪い道路
 - 主な避難路のうち、大雨時に溢れた水で冠水しやすい道路
 - 危険箇所
 - 防災倉庫
 - 地盤標高(海拔(m))
 - 土石流
 - 地滑り
 - がけ崩れ



製作：加茂名まちづくり協議会、加茂名地区自主防災連合会、加茂名小学校、加茂名南小学校、徳島大学 環境防災研究センター、徳島大学理工学部 河川・水文研究室、徳島市
 「この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである。(承認番号 令2徳島市指令第9号)」
 がけ崩れ、土石流、地すべり区域の詳細は徳島市土砂災害ハザードマップ(徳島市ホームページに掲載)をご覧ください。

加茂名地区(南部)地震・津波・洪水避難支援マップ

2020年3月



南海トラフ巨大地震の想定と避難

地震発生時の加茂名地区の揺れの強さは最大震度7で、地盤の沈下・液状化が発生し、建物やブロック塀等の損傷・倒壊、道路の通行障害が発生します。津波第1波は地震発生41分後に東沖洲マリニピアに到達し、最大高さは5m程度(地震発生53分後)になります。津波は川を遡上・氾濫して、蔵本公園野球場付近まで浸水し、浸水深は1~3mですが、田宮川の藪ノ木橋~沢橋間周辺では4m程度の想定です。避難に使える時間は30分程度になります。

自身や家族の負傷、情報の混乱の可能性もあります。大雨が重なると思えない避難路も出てきます。様々な状況を想定し、安全に避難できるように、このマップを使って複数の避難場所と避難経路を考えておきましょう。

大雨・洪水時の避難

大雨・洪水が予想される場合は早め(明るいうち)に避難することが何より重要です。夜間や急激な降雨では危険箇所が見えなくなるので動かない方が安全です。浸水深が10cmを超えると泥水で路上が見えなくなると避難が困難となります。浸水が始まった後の避難では、①単独避難を避け、②運動靴を履き、③探り棒で水中を探りながら避難してください。最近の洪水時の死亡原因の約2割は家の近くの側溝などに足を取られてしまうことであるという報告もあります。2人以上で避難しては流れに巻き込まれたり、深みに落ち込んで助かる可能性が高くなります。長靴は水が入ると途端に歩きにくくなるので履いてはいけません。このマップを参考に浸水しやすい場所を平日頃から確認しておきましょう。

車で浸水箇所を通過するのは非常に危険です。浸水深が10cmを超えるとブレーキが利きにくくなり、30cmを超えるとマフラーから水が逆流してエンジンに水が入ります。70cmでは水圧のためにドアが開けにくくなり、脱出できなくなる可能性もあります。



『徳島県土防災情報』
<https://bousai.pref.tokushima.lg.jp/map/>
 現在の雨量・水位などを見ることができます



鮎喰川



参考資料の紹介

- 徳島市 地震・津波防災マップ(左写真)
 南海トラフ巨大地震で想定される震度分布、津波浸水域・浸水深のほか、家庭での防災対策、災害情報の入手先、避難時の持ち出し品、避難生活等の詳細な情報が掲載されています。徳島市役所7階、危機管理局防災対策課で入手できます。2014年3月発行。
- 吉野川水系鮎喰川洪水浸水想定区域図
 大雨によって鮎喰川が氾濫した場合の浸水深と範囲等の予測が図面で表示されています。徳島市ホームページで閲覧することができます。2019年8月公表。
- 治水地形分類図(水害地形分類図)
 洪水災害を受けやすい地域の地形を表示した図面です。浸水被害を受けやすい地形が分かるほか、地盤沈下や液状化が発生しやすい旧河道(昔の河道)も記されています。旧河道は加茂名地区にも多く存在するため地震時には注意が必要です。国土地理院ホームページ等で閲覧することができます。

記号の説明

	津波避難ビル	津波が来る恐れのある場合に緊急的に避難する建物。指定避難所を兼ねている建物もある。(津波：)内の数字は収容可能人数		危険箇所
	指定避難所	台風、土砂災害等の一般災害時や、大規模地震に伴う津波警報解除後に被災者が一定期間避難して生活を送る施設。(避難：)内の数字は収容可能人数		防災倉庫
	避難ビル入口			地盤標高(海拔(m))
	小中学校や高等学校等の敷地入口			土石流
	かぎ保管庫			地滑り
	主要道路			がけ崩れ
	主な避難路のうち、狭かったり、障害になりやすいブロック塀があったり、見通しが悪い道路			がけ崩れ、土石流、地すべり区域の詳細は徳島市土砂災害ハザードマップ(徳島市ホームページに掲載)をご覧ください。
	主な避難路のうち、大雨時に溢れた水で冠水しやすい道路			

製作：加茂名まちづくり協議会、加茂名地区自主防災連合会、加茂名小学校、加茂名南小学校、徳島大学 環境防災研究センター、徳島大学理工学部 河川・水文研究室、徳島市
 【問合せ先】加茂名コミュニティセンター(088-631-3481)
 「この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである。(承認番号 令2徳島市指令部政第9号)」